

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：ピュアリー鹿島田保育園	種別：小規模保育事業A型
代表者氏名：奥山 千尋	定員（利用人数）： 15(15)名
所在地：〒212-0025 川崎市幸区古川町140-4 金子ビル川崎1F	
TEL：044-276-8814	ホームページ： http://www.purely-hoiku.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2017年 4月 1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 フェイスフルラバース	
職員数	常勤職員： 6 名 非常勤職員 4 名
専門職員	園長 1 名 看護師 1 名
	保育士 7 名 栄養士 1 名
施設・設備の概要	乳児室 1室 沐浴室 1室
	トイレ 1室 調理室 1室
	事務室 1室 職員休憩室 1室
	鉄筋コンクリート造り3階建ての1階部分 72.14㎡

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに丁寧に関わり、生きる力の基礎となる保育を目指します。 子どもたちが安心して過ごせる、家庭的な保育を目指します。 <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安心して笑顔でくつろいで過ごせる家庭的な保育園を目指します。 小規模園の良さを生かし、1人ひとりに丁寧に向き合い、それぞれの発達や個性を大切に細やかな配慮をしていきます。 子どもたち一人ひとりの欲求に応じて適切な援助をしていきます。 自分でできる喜びを味わいながら成長することを促し、子どもたちの生きる力を育てていきたいと考えます。
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>【立地および施設の概要】</p> <p>ピュアリー鹿島田保育園はJR南武線の矢向駅、鹿島田駅から歩いて約15分のところにあります。0～2歳児の小規模保育園で15名が在籍しています。園庭はありませんが、近隣には多数の公園や幸区役所内の大きな広場があり、子どもたちは毎日散歩に出かけ、自然に触れあい季節を感じています。</p> <p>【園の特徴】</p> <p>保育目標を「*心身ともにたくましく、元気な子ども *友だちと仲良く遊び、思いやりのある子ども *想像力豊かで、物事をよく考えて行動できる子」としていま</p>

す。

職員は子ども一人ひとりに丁寧に向き合い、それぞれの発達や個性を大切に、細やかな配慮を行っています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年4月20日（契約日） ～ 2022年1月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（ 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 子ども一人ひとりの人権を大切にした「子どもの対応マニュアル」

子ども一人ひとりの人格を尊重した関わりについて、職員会議で話し合って「子どもの対応マニュアル」を作成しました。

マニュアルは、「食への関心や意欲を育むために全ての献立を配膳する」「物事を強要していないか」「一人一人の子どもの育ちや家庭環境を考慮しているか」「差別的な関わりをしていないか」といった項目ごとに、さらにわかりやすい事例を加えて書かれています。

それぞれの項目には、参照すべき子どもの権利条約や保育指針の条文が載っています。全職員はこのマニュアルを持ち、子どもの人権を意識して、子どもと関わっています。

2. 外遊びでの豊かな経験

子どもたちは天気の良い日は毎日、近隣の公園や少し遠くの消防署の見学等に出かけています。1歳児から歩ける子どもは歩いて出かけています。公園の遊具で遊んだり、かけっこをしたり、思いっきり体を動かし、体力をつけています。アリやダンゴムシを探し、夏には手作りの籠を持って、セミやバッタを捕まえ、秋にはドングリや落ち葉を拾って自然に親しんでいます。

3. 職員の自己管理シートを活用した保育の質の向上

職員は各自目標を設定し、2か月、半期、1年ごとに振り返りを行って自己管理シートを提出し、その都度園長と面談しています。10月の面談では目標達成状況、課題を検討し、再度目標を設定しています。年度末の面談では、子どもを尊重する保育であったかなど達成状況を確認し、自己評価を行っています。その結果を職員会議で話し合って園の自己評価としてまとめ、それをもとに「改善計画書」を作成しています。

改善計画書は「すぐにできること」「工夫すればできること」「予算化しないとできないこと」に項目を分けて、それぞれ課題、目標、達成時期、スケジュール、担当を明記して、具体的な事業計画となっており、保育の質の向上を目指しています。

◇改善を求められる点

1. 子どもが自由に玩具や素材や道具を選んで遊べるような環境作りを

保育室はワンフロアというスペースの関係もあり、子どもの希望や様子から職員が玩具を用意しています。発達に応じた玩具や素材や道具を、子どもが自由に選んで取り出して遊べ、子ども自らが片付けられるような、子どもが意欲的に動ける環境を設定することが望まれます。

2. 園の専門性を生かした地域子育て支援を

中長期計画に、地域における公益的な取組、子育て支援、見守り、相談事業の取組を挙げています。園の専門性を生かして、子育て支援の取組を期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2017年4月に開園し今年で5年目を迎えています。乳児15名定員の小規模保育園の良さを最大限に出せるよう、マニュアルや目標管理シートなどを改定しながら質の向上に努めてまいりました。

今回初めての第三者評価を受け、子どもたちに丁寧に向き合う大切さと、保育所としての社会的役割を職員ミーティングで共有し、職員から今後の保育の取り組みへの意欲が汲み取られる意見が多くあがりました。また、ご指摘にもありました限られた保育室の中に子どもが主体的に遊べる環境づくりや保育園の専門性を活かした地域子育て支援を職員と共に考えていきたいと思えます。

コロナ禍で思うような保育ができないと思うのではなく、どんな逆境でも安心安全に楽しく過ごせる保育園を目指していきたいと思えます。

今回の第三者評価を受け、アンケートにご協力してくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり